

◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。
状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

1. 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】 (https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2020/t_suemura/index.html)

2021年1月9日(土)～3月21日(日)

企画展：日本陶磁の源・陶邑窯 一猿投窯の前に立ちはだかった巨大な壁ー古墳時代に始まる国内最古の陶磁器・須恵器。この生産を牽引したのが大阪府の陶邑窯です。本窯は、新来のロクロの技術を駆使し、新たな造形を次々と生み出しながら、奈良時代に至るまで最大の陶産地として君臨しました。陶邑窯の作風の軌跡と歴史的意義に迫ります。



2. とうしん美濃陶芸美術館【岐阜・多治見】

(<https://www.shinkin.co.jp/tono/toshin/manabi/index.html>)

2021年1月6日(水)～3月28日(日)

企画展：所蔵品でみる美濃陶芸の世界 とうしんコレクションⅢ

本展は、東濃信用金庫が昭和61年から行っている美濃陶芸作品永年保存事業で購入した作品をはじめ、今年度、新しくコレクションに加わった作品を中心に展示致します。所蔵品でみる美濃陶芸の世界をお楽しみください。
尚、同時開催の「美濃茶碗展」は美濃陶芸作家28人の茶碗を展示します。



3. 兵庫陶芸美術館【兵庫・篠山】 (<https://www.mcart.jp/exhibition/e3203/>)

特別展：ひょうごゆかりの古陶磁 ー丹波焼・三田焼・王地山焼ー

12月12日(土)～2021年2月21日(日)

当館は2005年の開館以来、購入、寄贈、寄託などによって収蔵作品を充実させてきました。当館の収蔵作品は、丹波焼をはじめとする兵庫県内の古陶磁や国内外の現代陶芸の作品など、多岐にわたります。本展では、近年、新たに収蔵品に加わった古陶磁の作品を中心に約90点を紹介します。



4. 国立工芸館(東京国立近代美術館工芸館)【石川・金沢】

(<https://www.artagenda.jp/exhibition/detail/5350>)

特別展：国立工芸館石川移転開館記念展Ⅱ

「うちに こんなの あったら 展」 気になるデザイン×工芸コレクション

2021年1月30日(土)～4月15日(木)

本展は、クリストファー・ドレッサー(1834-1904)、富本憲吉(1886-1963)、ルーシー・リー(1902-1995)を中心に、国立工芸館のコレクションから厳選したデザイン・工芸作品を紹介します。

